

協同組合 金沢問屋センター 昭和58年度 福利厚生事業計画

- 第16回商社対抗野球大会
日時 5月9日(月)～8月上旬 午前6時開始
場所 (協)金沢問屋センター球場
- 第13回商社対抗麻雀大会
日時 6月11日(土) 午後6時30分開始
場所 金沢問屋町会館2階ホール
- 第16回納涼盆踊り大会
日時 7月30日(土) 午後7時
雨天時8月1日(月)
場所 北陸銀行金沢問屋町支店横
第一共同駐車場
- 第9回商社対抗ソフトボール大会
日時 9月15日(祭) 雨天時9月18日(日)
場所 (協)金沢問屋センター球場
- 第11回社員園遊会
日時 10月8日(土) 午前11時～午後5時
場所 A公園及び歩行者道路上
- 健康診断
日時 8月29・30・31日
午前9時30分～午後4時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- 成人病予防検査
日時 8月24・25・26日と59年2月21・22日
2回実施
午前8時30分～12時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- お茶教室
毎週水曜日 午後5時～7時迄
会館2階和室 裏千家

- お花教室
毎週金曜日 午後5時～7時迄
会館2階和室 草月流
- 着物着付け教室
毎週月曜日 9月より新たに生徒を募集します。

第13回 麻雀大会開催

第13回商社対抗麻雀大会は、6月11日(土)午後6時30分より、問屋町会館2階ホールを会場に32社92名の参加により開催され、個人戦では2回戦より首位にたったカト一産業(株)、山崎二雄氏が、その後も順調に得点を重ね、そのまま優勝し、賞品のTVウォッチを獲得した。

主な入賞者は次の通り。(敬称略)

■団体の部			
優勝	(株)田村勝治商店	1,887	
準優勝	玉田商事(株)	1,577	
第3位	共栄商会	1,238	
●個人の部			
優勝	カト一産業(株)	山崎二雄	1,206
準優勝	玉田商事(株)	竹内義久	1,102
第3位	共栄商会	鎌倉宏二	867
第4位	(株)田村勝治商店	田村憲司	769
第5位	(株)田村勝治商店	小杉豊志	764
第6位	(株)コシハラ	長瀬輝夫	740
第7位	玉田商事(株)	吉田良一	694
第8位	成瀬電気工事(株)	板橋 正	667
第9位	川上商店	清水修造	619
第10位	(株)マツモト	尾崎猛夫	607

問屋町町会子供みこし 百万石まつりに参加

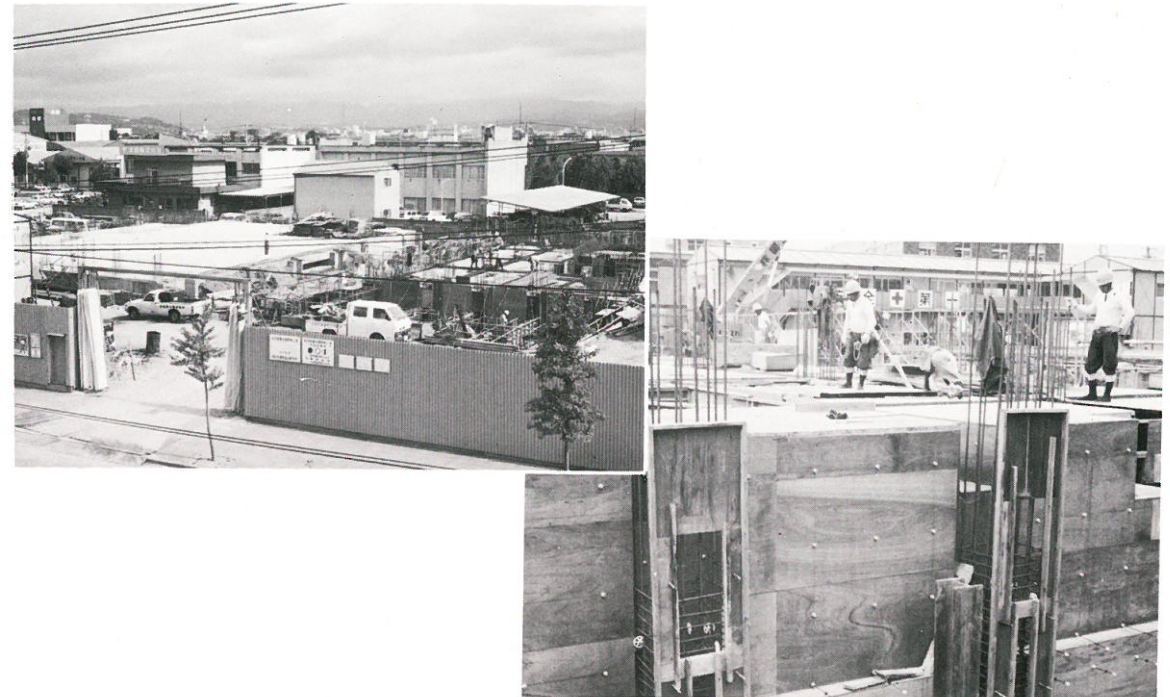
快晴に恵まれた6月14日、百万石まつりの子供みこし行列に問屋町町会子供会が参加。
約5kmにわたる道のりを、暑さにへたばる付き添いの大人たちを尻目に、おみこしの重さを感じさせない位、元気に練り歩きました。

〈写真提供・北国新聞社〉



協同組合 金沢問屋センター

第26号 1983年7月発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585



「金沢流通会館」建設中

企画委員のたわごと

企画委員長 富木 昭光

企画委員長をお引受けして既に1年を経過しました。昨年7月に発行された組合広報に企画委員会の役割なるものを発表させて頂きました。その文中にもありますように当組合の将来の展望を考える時、過去のプロセスと現状の認識・見直しをする必要がございますので、半年がかりで“組合への提言”という形で現状認識を纏め過日理事会に提出した次第です。内容は (1)組合設立の精神及基本的理念について、(2)財政的裏付について、(3)共同事業について、といった項目で検討したので詳細については組合事務局でご高覧頂ければ幸いと存じます。

当金沢問屋センターも設立以来20年、当地に集団化して満15年を経過しました。その間創成期から発展期を経て今や成熟期を迎えております。技術革新と共に時代感覚も推移して参りましたが果して協同組合に対する認識、意識はどう変わって来たものでありましようか。当組合も且つては先進団地として模範であったことは事実ですが、一応の完成をみた段階で現状に甘んじている間に後発団地に追い抜かれ、逆に彼等から学ばねばならなくなったのではないのでしょうか。夫々の企業が実力を蓄え基盤が出来た故、組合のメリットが薄れて来たのかも知れませんし、運営のマンネリ化の所産かも知れません。併し当団地に参加したことで享受したメリットは信用の増大、金融、情報、求人、教育、売上、販路の拡大等ばかり知れない恩恵にあづかったものと推察致します。

運命共同体としての意識よりも自社優先、自社生き残り戦略を短期的視野でとらえているならば時代の対応と共に再考して長期的展望の視野に立って頂きたいと考えるものです。そのためには共同事業をより以上に計画し、実行し、スケールメリットあるものにし、その精神的、経済的効果を組合員に還元出来る知恵を出し合おうではあ

りませんか。大乗的見地から自社企業防衛を考えていこうではありませんか。例えば異業種との提携による売上の向上、一層の経費削減をはかるための経済的効果を発揮出来る共同事業を活性化するとか、又大型コンピューターを導入して共同利用するといったような経費節約や共通の悩み、問題点の解消を討議出来ないものだろうか。互いに共通の経営討議まで止揚出来ればしめたものであるが所詮夢物語、たわごとであろうか。

私共は夢を追い続け、ロマンを求めるのが企画委員会の仕事であると自負している次第です。流通会館建設を機会により一層の協同と連帯の意識を高め、来るべき時代、21世紀に備えた対処の仕方や次世代に引継ぐべき仕事を一緒に考え取組んでいきたいと念じております。

第20回通常総会開催

当組合の第20回通常総会は、去る5月23日午後2時より問屋町会館2階ホールで開催された。

挨拶の中で小川理事長は新会館建設に触れ、最新式の機器や設備をとりそろえたもので、全国の地方卸団地では最大規模の施設となるとともに、金沢のコンベンション都市構想を具体化していく先駆けにもなるため、今後組合員個々の協力の下に会館運営が円滑に行われるよう強く要望した。

その後、議案審議に入り、全議案が原案通り承認された。

1. 開催期日 昭和58年5月23日 午後2時
2. 開催場所 金沢問屋町会館 2階ホール
3. 組合員総数 154人
4. 本人出席 72人
5. 委任状出席 43人
6. 議長 小川三郎
7. 議案の審議状況

司会者より出席定数が過半数を超えているので、本通常総会は成立する旨報告後、議案の審議に入る。

- (1) 議長は第1号議案 昭和57年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件を上提



事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

- (2) 議長は第2号議案 剰余金処理(案)承認の件を上提

事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

- (3) 議長は第3号議案 昭和58年度事業計画(案)承認の件を上提

事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

- (4) 議長は第4号議案 昭和58年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法承認の件を上提

事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

- (5) 議長は第5号議案 昭和58年度借入金の高限度額承認の件を上提

事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

- (6) 議長は第6号議案 組合員脱退承認の件を上提

事務局に朗読を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認した。

以上で議案審議を終了した。

- 来賓出席者**
- 太田石川県参事
 - 小池金沢市経済部長
 - 原田商工中金金沢支店長
 - 平川北国銀行問屋町支店長
 - 辻 北陸銀行金沢問屋町支店長
 - 小出三菱銀行金沢支店長
 - 喜多中央会事務局長

問屋町交通安全対策協議会 第15回通常総会

問屋町交通安全対策協議会(会長 笠師喜美男)は去る6月2日午後1時より問屋町会館2階ホールで金沢東警察署交通課長新田敬司氏、茶畑昇氏を来賓に迎え開催された。

本年は15回大会にあたることもあり、例年の優良運転者表彰の他に優良事業所も表彰することとし、グリーンカレンダー記入良好な商社を対象に選考した結果、別表の25社を選び交通安全協力賞を贈って努力を称えた。

問屋町派出所茶畑巡査の問屋町事故状況報告(別表参照)によれば57年度は人身事故・物損事故とも前年に比べて半減し、これも偏に会員諸氏の努力のあらわれと関係者一同よろこんでいる。しかし21件の事故の内一番多いのが交差点で一旦停止をおこたった出合頭によるもので、これは交差点附近に駐車する車が多い故とも考えられ、今後問屋町全ての路上駐車(長時間違反駐車)の車輛ナンバーを把握し、指導してゆくことを重点目標にかかげた。

又、総会終了後増田金一氏の講演会「言葉の奥の心をさぐる」を開催した。



■問屋町地内事故状況(問屋町派出所調べ)

問屋町地内の事故件数及び従業員の関係する事故件数

年度	事故種別	発生件数	従業員の関係する加害者数	従業員の関係する被害者数
54年	人身事故	12	2	1
	物損事故	12	2	1
	合計	24	4	2
55年	人身事故	16	1	3
	物損事故	13	0	0
	合計	29	1	3
56年	人身事故	23	2	2
	物損事故	26	5	6
	合計	49	7	8
57年	人身事故	9	4	3
	物損事故	12	1	3
	合計	21	5	6

優良事業所表彰名簿

- | | |
|------------|-----------|
| 芦原 (株) | (株)川助 |
| 石織 (株) | 金沢機工(株) |
| 小川商事(株) | 北陸通信工業(株) |
| 岡本 (株) | 北日商事(株) |
| 島崎 (株) | 丸西食品工業(株) |
| (株)田村勝治商店 | 明希 (株) |
| (株)丸昌 | 伊藤洋品(株) |
| 丸与商事(株) | (株)大沢商店 |
| 森佐 (株) | 北陸グイヤ(株) |
| 山村 (株) | 勝尾商事(株) |
| 山和 (株) | 尚和印刷(株) |
| 山和ソーイング(株) | 共栄電機(株) |
| 永和設備工業(株) | (以上25社) |

優良運転者表彰名簿

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 20年以上 | 北茂則 | 北日商事(株) |
| 15年以上 | 野崎哲司 | " |
| " | 薨尾仁 | 丸与商事(株) |
| 10年以上 | 篠原伸次郎 | 山和(株) |
| 5年以上 | 番茂夫 | 石織(株) |
| " | 山崎保 | " |
| " | 内田保志 | 小川(株) |
| " | 前田利光 | " |
| " | 長瀬喜三男 | (株)紙谷物産 |
| " | 西田竹松 | " |
| " | 浅野博 | " |
| " | 本保堯 | (株)タマイ |
| " | 福島外茂造 | 北陸通信工業(株) |
| " | 榊肇 | " |
| " | 西山正夫 | " |
| " | 辰川伸一 | " |
| " | 坂本憲治 | " |
| " | 今井茂 | " |
| " | 中村外志雄 | " |
| " | 小坂隆一 | 北日商事(株) |
| " | 加藤弘 | " |
| " | 川原裕 | 丸与商事(株) |
| " | 小西敏夫 | " |
| " | 広瀬与志夫 | " |
| " | 分校立平 | 理光商事(株) |
| | | 以上25名 |

新入社員歓迎式

4月4日午前10時より、金沢問屋町会館2階ホールにおいて、昭和58年度新入社員歓迎式が行われた。今年は40社178人(男子95人、女子83人)が出席し、大卒者の増加が目立った。小川理事長の挨拶に続き、来賓の金沢公共職業安定所長小松弘伯氏、石川婦人少年室長政二俊子氏、石川県立金沢商業高等学校校長平野外喜平氏より祝辞を賜わった。先輩代表として共栄電機(株)紅谷寿紀さんより歓迎の辞があり、これに対して新入社員代表の(株)堀川商店木原美晴さんが「与えられた職務にこの健康体と若さの活力を投げ込んで精励いたします」と力強く答辞を述べ閉式しました。

式後、金沢市勤労青少年ホーム運営委員長の大橋賢正氏が「企業の期待する社員像」と題して約一時間にわたり講演を行なった。

◆ 電話教室 ◆

新入社員電話教室は4月6・7・8日の3日間に、32社134名が参加し、行なわれた。

金沢電話局より講師を迎え、ビジネス電話の応対、マナーについて具体的な事例を参考に、実際に受話器をとりながら、2時間あまりにわたって指導を受けた。



◆ 新入社員研修会 ◆

4月12・13・14日の3日間、根上町立青年の家で、28社101名(男55名、女46名)の新入社員が、(財)修養団の阿武孝太郎、久世郁夫の両講師に指導を仰いだ。講話や静座、話し合い学習など研修内容は例年とさほど変化はないが、今年度より一組の定員を半分にして、二回に分けて行なったため、その効果は例年にもまして大きかったようである。



昭和58年度 晴れの受彰者

昭和58年5月26日 藍綬褒章



石織株式会社

社長 山田治男氏

県消防協会長、日本消防協会副会長などの要職を歴任して、永年に亘り消防活動に精励された。

52年3月に産業振興功労で受章しておられ、今度で2度目。

近代化研究会6月定例会

「あなたの質問お受けいたします」

近代化研究会では、6月定例会にアサヒ装設(株)社長の山本基宗氏を講師に招き、勉強会を開催しました。今回は会員からの質問をもとに先生が話をすすめていくという形式をとりました。ここにその一部を御紹介します。



Q 会社を経営するということと、商売をするということは違うと思うんです。例えば決算書一つ読めない人が上手に儲けている反面、私なんか本をよく読んで大学で学んだことを生かすべく経営学、人事管理の本など読んで勉強しているつもりだが、なかなか上手に利益が残せない。つまり儲けることが下手な人間だと思います。そういう場合、根本的には上手に商売をやるということがあると思うが、今現在商売の下手な人間がどのようにして自分を磨けばいいでしょうか。

A 私は大きくわけて商才と、経営才の2つがあると思います。お客さんで経営才のある人には、この機械を扱うと会社が儲かるからといって売ります。商才のある人にはどれだけ儲かるといってもダメなんです。これは本当にいいぞ、あんた扱ったら本当に喜ばれる。喜ばれるとか、うれしいとか感情的な文句で買ってくれるのが商才のある人。私は前の仕事をやめるとき、まず商才を勉強するように言われました。うちの会社へ新しい子が入ったときはまず商才から教えます。

Q 近代化研究会の会員も、ほとんどそうだと思いますが、2代目を修業に出すことについてどうお考えですか。

A 基本的にはどこの社長から聞いても、2代目はよその飯を食わしてますね。本人がよそへ出ると、社員が社長に対してどのようなものを持っているか分かってもらうというのがメリットの一つです。

今、実力をつけねばならない時代といわれていますが、若い人達には柔かい、人間のコミュニケーションをする指導をしておかないとみんな失敗するらしく、いわばありがとう、ごろうさんなどのねぎらいのことばが理論の後へついてこなくちゃならないのが、理論だけでいくという社員がふえています。私の会社でもそれを吹き込んでいます。

Q 社員のやる気をおこすための原動力みたいなものについて、お教えねがえませんか。

A 私のところは販売と工場とはそれぞれ別です。私が全部回るわけじゃなくて、そのトップだけ教育してそれがバラバラになってそれぞれのパートを教育します。

例えばセールスの方は自分達がとれなかった伝票を全部もってきて、何故この受注が離れたのかについて、その担当者が先生になって教えるわけです。その先に私が実際に経験したとれなかった例を教えておくんです。彼はそれとか、また他の人にも聞いたりして教えるんです。で、私が教える範囲は6~7人位です。

女の子は入ってくると約3ヶ月程ほっつけときます。3・3・3の教育といって、3日間ほっついて、3ヶ月やや仕事をさせて3年間じっとみて、それから本式に社員にするつもりです。手続は社員になってますが、扱いは3年後です。3ヶ月たってから、研修会に出させます。3ヶ月悩んでますから、その講習の内容がすんなり入ってきます。

教育というものは、体験させ、その体験談を語らせた方が身に入ってくるものです。自分に体験がなかったら、体験のある人をつれてきて、しゃべらせた方がいいです。

Q TQCをとり入れたいと思いますが、その進め方、考え方はどんなものでしょう。

A ああいうシステムは、うちでは全然入れてません。あれでびる人がいれば、くずれる人も相当いるはずですが。QC活動を行うと半分の人とまってしまう。100人以上になるとああいう旗印をあげて、一斉にしないと動かないものです。それは否定しません。ですが100人以内なら、とり入れる必要はないと思います。